

よねざわ

市議会だより

Yonezawa City Council

Vol.156

令和元年8月1日

6月
定例会

3月

9月

12月

綱木獅子踊り

綱木獅子踊りの歴史は古く、平家の再興を願って踊ったのがはじまりと語り伝えられています。先祖の供養や五穀成就を祈る踊りで、「関東肥後踊り」かくたなかむら「角田中村踊り」じゅうしゅうだ「十七下り」の3つの踊りを笛と太鼓の音に合わせ、3頭の獅子が力強く舞います。跳んだり跳ねたりの激しい動きはありませんが、その静かな所作の中に400年以上の歴史の重みを感じられます。獅子踊りは、毎年1回8月15日に行われており、綱木出身者のもとより各地から観光客が訪れています。保存会が中心となり、市内外の希望者を受け入れるなど獅子踊りの保存・継承に尽力しています。



<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1065.htm>

米沢市議会

検索



6月定例会

6月10日～6月28日

議案40件を 原案のとおり可決

令和元年6月定例会は、10日から28日までの19日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、報告案件9件を了承し、米沢市公平委員会委員の選任及び米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任にそれぞれ同意した後、議案40件、請願1件を各委員会にそれぞれ付託しました。13日、14日及び17日には、15名の議員による一般質問を行いました。

19日には総務文教常任委員会、20日には民生常任委員会、21日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案と請願の審査を行うとともに、産業建設常任委員会では、市道路線の認定についての現地調査を行いました。

24日には、予算特別委員会を開き、補正予算2件について審査を行いました。

最終日の28日の本会議では、全国市議会議長会から議長として4年、市政の振興に努められ表彰を受けた前議長に対し、表彰状の伝達を行いました。その後、各委員長報告を行い、議案40件を全て原案のとおり可決し、請願1件を採択しました。このほか、意見書の提出に係る発議2件を原案のとおり可決しました。

最後に、議員派遣について了承し、6月定例会を閉会しました。

委員会報告

各常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴い、市民バスの使用に係る使用料の額を改定しようとするものです。

【委員】市街地循環路線の料金は、利用者が使いやすいように切りのいい金額に設定されているのではないのか。料金の据置きはできないのか。

【地域振興主幹】市街地循環路線の運行を始めた時点で、利用者に使いやすい料金として5%の消費税を含めて200円としましたが、増税によって運行経費等が増えることや、国からの通知により民間バス路線も料金を引き上げる申請を行っており、市民バスの料金を据え置くことは他のバス路線とのバランスを欠いてしまう懸念があることから、改定させていただきたいと考えています。

◎採決にあたって（意見）

【委員】消費税は逆進性があり低所得者の負担が大きいこと、公共施設等の使用料収入の増額分は市で負担できると考えること、市民に負担を強いることから反対する。



▲市民バス ヨネザアド号

▼核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書提出方請願

本請願は、国連で採択された核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書を、国会及び政府に提出していただきたいとするものです。

【委員】核保有国が締結していないこの条約では、実質的

な核軍縮は進まないのではな
いかと考えるがどうか。

〔参考人・紹介議員〕核兵器
不拡散条約の枠組みでは核軍
縮がなかなか進まない現状で
あり、多くの国がこの条約を
締結することによって、核兵
器を禁止する機運を高められ
ると考えています。

〔委員〕日本がこの条約に署
名することで、どのような変
化が生まれると考えているか。

〔参考人〕唯一の戦争被爆国
である日本が核兵器禁止の先
頭に立つという意思を表明す
れば、たとえ核保有国であつ
ても日本の立場や考えを尊重
してくれると思う。その結果、
核兵器禁止の機運が高まって
いくものと考えています。

◎採決にあたって（意見）

〔委員〕日本は、核保有国と
非保有国が協議できる体制の
構築や双方の橋渡しをしてい
くべきであり、その日本がこ
の条約を締結することによつ
てかえって双方の対立を生む
のではないかと危惧する。そ
して、核保有国がこの条約に
反対している状況では、本当
の実効性は保てないのではな
いかとの疑問があるため、本
請願に反対する。

〔委員〕国際社会として明確
に核兵器を禁止する条約は未

来のために必要であり、核兵
器を持たない、つくらないな
どという立場で核保有国に核
兵器の廃絶を迫っていくのが
最も実効性のある方法であ
る。日本は唯一の戦争被爆国
としてこの条約に率先して署
名し、国際社会でも核軍縮を
リードすべきであり、そうす
ることで核保有国に対する国
際的な核軍縮の働きかけにつ
ながっていくと考え、本請願
に賛成する。

民生

▼米沢市自転車等駐車場の設
置及び管理に関する条例の一
部改正について

本案は、消費税及び地方消
費税の税率の引上げに伴い、
駐車場の使用に係る使用料の
額を改定するほか、規定の整
備を図ろうとするものです。

〔委員〕定期券を消費税増税
前に購入していた場合、増税
後に増税分の使用料を支払う
必要があるのか。

〔環境生活課長〕定期券を購
入する時点の消費税率が適用
されるため、増税後に増税前
の使用料との差額を支払う必
要はありません。

▼米沢市災害弔慰金の支給等

に関する条例の一部改正につ
いて

本案は、災害援護資金の貸
付けを受けようとする者が保
証人を任意で立てることがで
きるようにするとともに、災
害援護資金の利率及び償還方
法を改めるほか、規定の整備
を図ろうとするものです。

〔委員〕災害援護資金の貸付
けの際、保証人を立てない場
合における市長が規則で定め
る利率は、どの程度を考えて
いるか。

〔社会福祉課長〕都道府県社
会福祉協議会が行っている生
活福祉資金貸付制度及び東日
本大震災の特例法を参考とし
て、利率を年1・5パーセン
トにしたいと考えています。

〔委員〕貸付けを受けようと
する方は災害に遭われ、災害
援護資金を受けられないと生
活の立て直しができない状況
にある。社会福祉制度として
低所得者世帯や高齢者世帯の
ことを考慮するのであれば、
もっと低い利率とするか、利
息を取らないことも検討して
いただきたいと要望する。



産業建設

▼米沢市新庁舎建設工事請負
契約の一部変更について

本案は、平成30年9月定例
会で議決し、現在施工して
いる米沢市新庁舎建設工事
について、地質調査結果に
基づく液状化対策の地盤改
良工事の追加及び当該地盤
改良工事の追加による工程
への影響を抑制するための
工場製品の活用等に伴い、
契約金額を43億4592万
円から46億6173万円に
3億1581万円増額すると
ともに、工事の完成日を平成
33年3月22日から令和3年4
月10日に延長し、契約を変更
しようとするものです。

〔委員〕この度の増額によつ
て全体事業費総額71億円も増
額となるのか。

〔営繕主幹〕当初本契約の際
に提案価格が上限価格を約
10億円下回っており、この度
の増額はここで吸収される
ことから、全体事業費には影
響が出ないと見込んでいます。

〔委員〕大雪などの影響で、
事業費や工期に影響が出るこ
とはないか。

〔営繕主幹〕工場製品などを
用いて年内に基礎工事を完了

させる予定であり、冬季の影
響を織り込んで工程を考えて
います。

〔委員〕今後大幅に事業費が
増額となる想定はしているか。
〔営繕主幹〕今回対応する地
盤の液状化への対策について
は、要求水準書において、詳
細な地質調査をもつて判断す
るとしており、その調査結果
を受けて、地盤改良工事を実
施するものであります。今後、
実施する工事で、土工事にお
いては不確定要素があります
が、基礎工事完了以降、工事
費が大幅に増額となる可能性
は低いと考えています。



▶新庁舎外観パース

明誠会
あいつた

相田 克平 議員

人口減少克服への地域
マネジメントについて

私の調査結果では、10年前との家計比較でふえた支出上位は、医療費・通信費・車関連費。減った支出上位は、衣服や美容・旅行やレジャー・貯蓄や保険であり、家計のゆとりや地域経済の縮小が見える。

市内の自家用車台数が3分

の2になれば、約1000億円のお金が地域内にとどまる。車がなくても暮らせるまちを目指し、車の所有で市外へ流出するお金を地域内にとどめるべきだ。

公共交通の整備を交通弱者対策だけでなく、人口減少下の本市を守る地域経済対策として取り組むべきでないか。

〔企画調整部長〕公共交通の

市民平和クラブ
しみんへいわ

小久保広信 議員

電力の地産地消を行うべき

エネルギーを輸入せずに地元でつくることは、的確に地方の活性化につながる。福岡県みやま市では、みやまスマートエネルギー株式会社を設立し、家庭等の低圧電力売買を行っている。置賜地域でも同様の取組みができるかと考えるがどうか。

〔企画調整部長〕今後の地域

電力の動向をさまざまな視点から注意深く見守る必要があり、全国的な流れや周辺自治体の動向等を注視し、置賜地域での電力の地産地消や小規模発電の普及等を研究している「一般社団法人置賜自給圏推進機構」からも話を聞き、本市としてできることを考えていきたいと思っています。



▲米沢南工業団地内の木質バイオマス発電所

電力の地産地消により、200億円のお金を域内で循環させていくという発想を持つて取り組むべきだと思う。

整備により経済波及効果もたらされれば、本市にとって有益と考えられますが、限られた財源で目的を定め効果的な施策を行わなければならない現状では、交通弱者の交通手段の確保・改善を最優先し取り組みべきと考えています。

後期基本計画策定の中で市独自の家計調査の実施は難しいところですが、県の調査等とも比較し、どのような推移があるかを分析していきます。

今までの延長線上では市の負担がふえる一方だ。最も便数の多い循環路線は収支が合い、利便性向上で利用率が上



▲米沢市街地循環バス南回り路線

がれば負担はふえない。まず、このエリア内での大胆な拡充を優先して黒字化し、その利益で全体の利便性を向上させていく視点で公共交通網の形成を進めるべきでないか。

〔企画調整部長〕循環路線は、通学や高齢者の通院・買い物等の割合が多く、増便に比例して利用もふえるか研究が必要です。公共交通に係る予算は約1億2千万円で、現在の財政状況でこれを大きく増加させ転換を図ることは、現実的には難しいところです。

ある程度可能な財政の中で、いかに有効な手段で充実

置賜定住自立圏共生ビジョンにしっかりと盛り込むことが必要だと思うがどうか。

〔企画調整部長〕電力の地産地消は、非常に望ましい姿だと思っています。本市だけでなく、各市町や関係団体と意見交換をしながら、検討していきたいと思っています。

会計年度任用職員制度
導入について

会計年度任用職員制度の導入に向けたスケジュールをどう考えているのか。

〔総務部長〕制度導入までのスケジュールは、任用、勤務

条件、給与等の処遇などに関し、国が示したマニュアルの内容と本市の臨時職員・嘱託職員の現状との間で整合性を図る必要があるため、現在、慎重に検討を進めています。

この制度は、2020年4月1日に施行される。本来、本定例会に条例を提案すべきだったと思うが、9月定例会に提案できるのか。

〔総務部長〕現段階では、いつ提案できるのかをはっきり申し上げられる状況にありません。なるべく早く内容をまとめ、職員団体等に提示したいと考えています。



明誠会
めいせいかい

ふるやま
古山 悠生
議員

本市が描く人口ビジョンとは

現在の本市の人口動態はどのように推移しているか。

〔企画調整部長〕現在の本市の推計人口は8万2299人であり、減少傾向にあります。平成28年に策定された「米沢市人口ビジョン」の推計とは大きな差は生じてないと考えています。

若者や女性の雇用・定住化が地域人口の維持のためには重要と考えるが、本市はどのように取り組んでいるか。

〔企画調整部長〕奨学金返還の支援事業や、情報誌において地元の大学の魅力や市内で働くことのやりがいなどをPRしています。

〔産業部長〕高校生の約5割、大学生の約9割、短大生の約



日本共産党市議員
にほんきやうとうしぎだん

たかし
高橋 壽
議員

消防団員が活動しやすい環境づくりを

消防団員の中には、職場から出勤した場合、「有給休暇での対応」になる方がいる一方、「欠勤扱い」になる方もおり、給料や賃金に影響し不利益を被っている。行政は、事業所に奨励金を支給するなど、団員が活動しやすい環境

づくりをすべきではないか。

〔市民環境部長〕団員が活動しやすい環境になるよう、事業所に対し消防団協力事業所の認定や、消防団等充実強化法に定められた事業者の協力についてさらに周知するほか、先進事例等を参考にしつつ必要な施策を検討していきたいと考えています。

〔市長〕団員の確保というこ

父親が積極的に育児参加するためには

6割が卒業後県外に流出している状況です。女性に限らず、若者の雇用による地域への定住が重要であると考え、高校生への仕事体験、大学生への出前講座などを今後も継続して取り組んでいきます。

父親に対する育児支援は。

〔健康福祉部長〕赤ちゃんを迎える親講座や育児教室、家庭教育講座などを実施しています。今後は子育てハンドブックに父親向けのコーナーを設けるなど、家族全員で赤



▲春季消防演習の様子

教員の長時間勤務は教員数を増やして解消を

とも含め、現状がどのようになっているのか実態調査をしたいと考えています。

教員の長時間勤務の問題は文部科学省も通知を出して解消を促している。業務の見直しは教職員間の話し合いで進めるべきだと思いが、各学校現場でどのように話し合いが行われ、どのような業務が削減されようとしているのか。

また、長時間勤務の原因はそもそも国が教員数をふやしてこなかったことにあると考えるが、本市小中学校の状況を踏まえて教員の定員についてどのように認識しているか。国に定員をふやすよう要望すべきだと考えるがどうか。

「地元学」のススメ

「地元学」に基づいて郷土愛の醸成に努めてはどうか。

〔教育長〕多くの人が持続可能

ちゃんを育む支援ができるように検討いたします。

男性の育児休業の取得率は。〔産業部長〕本市の男性の育児休業取得率に関する統計がないため把握できていませんが、山形県の実績については全国的に低い状況にあります。市内企業への周知に努め、国や県の制度の活用を促すことで男性の育児休業の取得率向上につなげていきます。



▶六郷町にある農村文化を伝える民俗資料館

な地域づくりのためにみずから活動する地域コミュニティの醸成に努め、継続して支援していきたいと考えます。

〔教育長〕学校では、長時間勤務の解消に向け、解消策を共有しながら具体的な取組みを進めています。教育委員会としても中学校における部活動のガイドラインを作成したほか、校長会と連携し連休中の部活動のルールづくりもしたところです。

教職員の定員増についてはこれまで要望してきましたが、加配教員や部活動指導員、スクールサポートスタッフなどの増員をさらに要望していきます。



さくらだもん
櫻田門

堤 つつみ

い く お
郁雄 議員

デマンドタクシーの市拡充

高齢者の交通事故がふえ、免許返納者もふえている。しかし、市内バス路線などの公共交通機関は不十分だ。現在市内3地区で行われているデマンドタクシーの全市拡充が必要と考えるがどうか。

〔企画調整部長〕デマンド交通は民間交通事業者のサ-

ビスを補完する事業に限られるため、既存の運行路線に重複または隣接するエリアに新たな交通サービスを導入するのは難しい状況です。今後は、高齢社会や交通弱者に対応するため現状を把握し、地域の実情に配慮した適切な交通手段の配置で、市民の生活の足の確保に取り組んでいきます。



▲市民の足として有効なデマンドタクシー

人口減少に歯止めをかける対策は



しんいち
新一

なかむら
中村

けいすけ
圭介 議員

天元台高原の今後について

社会情勢も変化する中で、運営会社、地元の方の知恵や努力でなんとか天元台を維持してきた。厳しい現状を打開するために、本市も積極的に運営に関わっていくべきではないか。

〔産業部長〕天元台は、自然の影響に左右されるため、計

画どおりの経営が難しい面があります。そのような中で、東日本大震災の風評被害等のさまざまな課題を抱えていたことから、市としても新たな誘客事業を行ってきました。また、白布温泉や米沢八湯会の皆様と連携した取組みなども行うことで、支援に取り組んできました。

天元台を恒久的に維持して

いくためにも、本市と運営会社が共有する将来ビジョンを策定し、それに沿った支援等を行っていくべきと考えるがどうか。

〔産業部長〕株式会社天元台は第三セクターであり、市長と産業部長が取締役として参画しています。

今後も、しっかりと会社の運営方針を議論しながら、市と連携を図り、将来ビジョン等についても話をしていきたいと思っています。

白布温泉を含む天元台高原一帯の観光拠点を構築していくためにも地元の皆様の声に

香害の対応について

寄付してもらった土地建物を移住希望者にタダで差し上げるようなインパクトのある政策を他自治体では行っている。本市も同様の施策で情報発信すべきと考えるがどうか。

〔企画調整部長〕他の自治体の情報を持ち合わせていませので勉強いたします。

最近、香りのきつい洗剤や柔軟剤の影響で、気分が悪くなったり、頭痛や吐き気、めまい等を訴える人がふえている。使いまわしをする給食着などは子どもへの影響がある

耳を傾けていくべきではないか。

〔産業部長〕観光分野に限らず、市民の皆様とともに、まちづくりに取り組んでいく必要があると考えています。

山形県と連携し、天元台の重要性を再度認識するとともに、情報発信を行っていたいただきたいがどうか。

〔産業部長〕本市としてもインバウンドの対応に取り組んでいますので、県と情報の共有を図り、少しでも多く宿泊客に来ていただけるように、まずは情報発信を行っていき

たいと考えています。

引き続き、県との連携を密



▲天元台のパウダースノーは本州トップクラス

と思うがどうか。

〔教育長〕化学物質によるアレルギー症状を訴える児童生徒もいますので、保護者からの申し出により、校長判断で個人用として貸し出すなど柔軟に対応しています。

香りの害について知らない人も多いと思うので、あまり使わないようにお知らせ等はできないか。

〔教育管理部長〕そのようなことが大事だと認識していますので、どのような内容にするか研究いたします。

にし、しっかりと取り組んでいきます。



一新会
いっしんかい

成澤 和音 議員
なりさわ かずね

中高一貫校の設置はどのようになっているのか

都市部では、中高一貫校や中高大一貫校など、多種多様な学校教育を選ぶことができる。一貫校は子どもたちの選択肢や可能性の幅を広げていくと思うが、本市の中高一貫校の設置に向けた動きはどのようになっているか。

〔教育長〕 中高一貫教育校の効果については以前から注視、検討していました。県教育委員会から今年3月に東南置賜地区の県立高校再編整備計画（骨子案）が出されたのを機に、内部検討をさらに進めた結果、本市に併設型中高一貫教育校を設置していただくよう、令和2年度の本市重要事業として県教育委員会に



▲東根にある中高一貫校の県立東桜学園

要望することになりました。今後も県教育委員会に対し本市の意向を伝えるとともに、中高一貫教育校の設置を

新たな学校誘致を行えないか

適正規模・適正配置が進む中で小・中学校の跡地がこれから出てくるが、その学校跡地を利用し、新たな高等教育の学校を誘致できないか。

〔企画調整部長〕 現在、本市としては、新たな高等教育機

視野に入れた再編整備計画となるよう、重ねて要望していきたいと考えています。

いつ設置できるかなどは、来年3月に県教育委員会で再編整備計画が策定される予定であり、現時点でははっきりした時期はわからない状況です。

関誘致の構想などは持ち合せていませんが、まちづくり総合計画において、大学と連携した学園都市の推進の施策の中で、山大王学部、米沢栄養大学及び米沢女子短期大学の充実などを掲げています。

魅力あるまちづくりに重要な役割を果たしている地元3大学を含めた既存の高等教育機関などの発展を最大限サポートするとともに、今後とも学園都市推進協議会などの関係機関と連携し、学園都市米沢のまちづくり推進に努めていきたいと考えています。



さくらだちん
櫻田門

遠藤 正人 議員
えんどう まさと

道路整備の現状と今後の課題

万世橋成島線と石垣町塩井線の整備計画の進捗はどうか。

〔建設部長〕 万世橋成島線の未整備区間は、本市の重要事業要望としても掲げていますが、市街地環状道路を形成する主要幹線道路であり、東北中央自動車道の整備効果を高め、市街地道路ネットワーク

を推進するためには、極めて重要な整備予定路線です。

殊に、石垣町塩井線とあわせて整備することにより、市立病院と三友堂病院との官民医療連携により建設が始まる両病院へのアクセス強化が図られることから、「命をつなぐ道路」としての大きな役割を担うため、一日も早い供用が望まれています。

このたび、県が平成30年度末に策定しました「山形県道路中期計画2028」の前期調査実施箇所位置づけされたことから、引き続き県との協議を密にしつつ、建設促進期成同盟会との連携をさらに強め、早期着工に向けて環境を整えたいと考えています。

一方、石垣町塩井線は、都市の骨格を形成する幹線道路であり、市街地道路交通ネットワーク化を推進するための重要な路線と位置づけています。まずは、市立病院と三友堂病院へのアクセス強化を図るため、福田町地内の県道板

献血事業の推進は

谷停車場線交差点から万世橋成島線と交差するまでの区間について、万世橋成島線事業者の県と本路線の事業者である本市とが歩調を合わせ、早期着工と供用に向けて環境を整えたいと考えています。

輸血用血液の不足が懸念されている。特に、若年層の献血者の割合が低迷している現状があるが、その対策をどのように進めていくのか。

〔健康福祉部長〕 昨年は、市内の高校で献血セミナーを実施したほか、専門学校の学園



▲日本赤十字社の献血バス

祭に献血PRブースを出展しました。今後も、さまざまな機会を通じてPRに努めます。



市民平和クラブ
しずか へいわ

我妻 徳雄 議員
わがつま とくお

避難行動要支援者の災害時の避難体制は

災害対策基本法では、自治体に避難行動要支援者（以下「要支援者」という。）の名簿作成を義務づけている。さらに、内閣府の避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針では、具体的な避難方法について個別計画を策定す

ることを求めている。本市の状況はどうか。

〔健康福祉部長〕本市では要支援者の名簿を作成し、毎年更新しています。その対象者は、要介護認定3から5、身体障害者手帳1級、2級、療育手帳A判定及び高齢者のみの世帯の方々と、平成30年7月1日現在で1万2073人となっています。



▲東日本大震災時の石巻市の様子

一方で、個別計画の作成に当たっては、一人ひとりと面会し、避難の支援は誰が引き受けるのか、どこにどのような避難するのかを具体的に

定公の能面・能衣装に対しては理解を示されていた。

上杉家の能楽コレクションの背景には逼迫した藩財政と俵約という苦しい事情があり、それをくぐり抜けて、米

沢の金剛流を中心とした能文化が今に伝わっているのは大変なことだと思ふ。恐らくほかの贅沢や華美なものは禁止されたと思われる。そのようなことから、京都や東京、米沢に残っている金剛流を、何とか大事にしていきたいと思ふ。

上棟式において米沢の太工さんは謡が謡える。お祝いの

学校図書館に学校司書の配置が必要ではないか

に打ち合わせしなくてはなりません。その必要性を認識していますが、避難経路を含めた具体的な個別計画の作成は進んでいないのが現状です。

学校図書館を活用する学習活動が円滑に行われるように支援をする学校司書は、2015年4月の法改正で、配置が努力義務化された。学校司書が配置された学校では、読書量が大幅に向上するなど、プラスの効果があらわれている。本市も積極的に学

校司書を配置するべきではないか。

〔教育長〕学校図書館の職務に専念できる職員を置くことは、蔵書の整理や配置、本の紹介コーナーや掲示物の工夫など、読書環境の充実という点から、その必要性は十分感じています。

〔教育指導部長〕現在、保護者や地域の方々にボランティアとして学校に入っていたり、学校図書館の整備をお願いしています。

今後、学校司書が配置できるように前向きに検討していきたいと考えています。

ていかなければならないという思いは我々も一緒です。

今後、関係団体と協働しながら伝統文化の継承に取り組んでいきたいと考えています。



さくらだ ちん
櫻田門

山村 明 議員
やまむら あきら

上杉家伝来の能面・能装束を生かした活性化策は

上杉家伝来の能面・能装束を生かした伝統文化の活性化策はないか。

〔教育長〕東京国立博物館には、昭和22年に購入した上杉家伝来の能面32面と能装束96領が所蔵されています。

上杉博物館では、これらを

借用し、平成13・14年度に伝国の杜開館記念として実施した企画展、平成22年度に国立能楽堂開場25周年記念巡回展の計3回展示しています。

現在、令和3年に上杉家伝来の能面・能装束展を行うべく準備を進めており、PRに努めていきたいと思ひます。

鷹山公は藩の財政再建のために質素倹約に努めたが、重



▲伝国の杜のエントランスに展示されている能舞台



一新会
いっしんかい

工藤 正雄 議員
くどう まさお

**人口減少を考えたコンパクト
シティー化の対策は**

国交省は、立地適正化計画制度の施策を踏まえ、都市構造の評価に関するハンドブックを策定した。都市機能誘導区域や居住誘導区域をどのように考えていくのか。

するとともに、都市構造を見直し、医療や商業等の生活サービス機能と居住を集約、誘導しながら、コンパクト・プラス・ネットワークの取組みが重要と考えています。

用途地域の変更などの改善は

高齢者が買い物できる店や若者が住宅を建てやすいような規制緩和が必要ではないか。



市民平和クラブ
しみんへいわ

影澤 政夫 議員
かげさわ まさお

**市民が切望する屋内遊戯
施設の早期実現を**

計画の見通しはどうなっているのか。また、民間企業の参画も検討すべきではないか。

**外出欲求の多様性に応え得る
公共交通機関の早期実現を**

整合性も図る必要があります。時間を要しています。また、民間活力の活用は、他市の状況などを参考に研究します。



▲第1種低層住居専用地域

【建設部長】規制緩和により、良好な住環境を壊すことも考えられます。地域の環境変化、高齢社会、他市町村の状況など勉強したいと思います。

を新設すべきではないか。

【企画調整部長】来年度から地域公共交通網形成計画を策定する予定です。その中で、現状の課題などを整理し、民間事業者と役割分担しながら検討していきます。

**中高一貫教育校の本市重要事業
要書への掲載について**

本市への中高一貫教育校設置と県立高校再編整備計画との関連性は。

【教育長】中高一貫教育校の設置は、県が進める県立高校再編整備計画の一部であることから、県の検討状況を注視

本市全体の発展に向けて

都市計画道路万世橋成島線の道路整備を促進できないか。

公共交通の向上を図れないか

社会状況が年々大きく変わっている中、すぐにでも手を施さなければならぬ事態にあると思うがどうか。

【企画調整部長】本市では、地域公共交通の活性化及び再

していきたいと考えています。

実業高校への人気履修学科新設等の要望をあげていくべきではないか。

【教育長】県教育委員会が行う意見聴取の際、要望することができると考えています。

**「林業遺産」認定に向けての
取り組みを**

日本森林学会が認定する林業遺産について、本市も積極的にアピールしていくべきと思うがどうか。

【産業部長】置賜地方に確認されている草木塔について、県では候補地選定に着手する



▶草木塔
（口田沢上中原 1865年建立）

生に関する法律に基づく地域公共交通網形成計画の策定に向け、準備作業を始めました。今年度策定する立地適正化計画との連携を図り、地域の特性や必要性に応じた方向性を示していきます。

バスが通っていない町の利便性向上に、近隣地域の乗り合いタクシーを活用することはできないか。

【企画調整部長】今の制度では非常に難しい状況ですが、今後民間事業者などと詳しく協議し、どのように対応できるか検討したいと思います。

このことであり、本市としても関係者と協議しながら、林業遺産選定に向けて積極的に協力していきます。



公明クラブ
こうめい

佐藤 弘司 議員
さとう ひろし

公共建築物に地元産木材
活用の推進を

平成22年に公共建築物等における木材の利用促進に関する法律が施行された。本市の公共施設は木造化、木質化が図られているか。

〔産業部長〕平成25年に木材の利用促進に関する基本方針を策定しました。その中で、

低層の建築物については原則木造化を目標とし、内装等については高層、低層にかかわらず木質化を促進しています。

最近の実績としては、「ナセBA」の外壁等に263立方メートル、「道の駅米沢」の壁や天井に約50立方メートル使用しており、現在建設が進められている新庁舎の内装にも可能な限り使用するよ



日本共産党市議員
にほんきやうとうしぎだん

高橋 英夫 議員
たかはし ひでお

2025年問題への対応策は

特別養護老人ホームの増設は喫緊の課題であると考えられているか。

〔健康福祉部長〕平成30年度から令和2年度までの3年間の計画期間とする第7期介護保険事業計画において、新たな特別養護老人ホームの増設予定はありません。

なお、第8期計画の策定では、ニーズ調査等で広く市民の意見をお聞きし、介護保険運営協議会を中心とした十分な協議、検討をしていきます。

認知症予防などの健康長寿の取組みを今から強化すべきか。また、支援策はあるか。

う、庁内関係課で協議しています。

学校のブロック塀を、減災効果のある木の塀にすべきだと思いがどうか。

〔教育長〕昨年発生した大阪北部地震におけるブロック塀の倒壊事故を受け、応急点検と安全対策を実施しました。危険箇所については、早急に解体撤去し、安全柵等の代替設備を設置しています。

今年度、再設置のための設計業務を行う予定であり、木製の塀についても設置手法の一つとして検討します。

「大人の発達障がい」への
理解と支援策を

催しています。また、医療機関では、かかりつけ医による物忘れ相談を行い、早期治療につなげる対応を実施しています。今後も、認知症サポートの養成等とともに、認知症予防に資する事業を実施していきます。

「大人の発達障がい」を持つ人たちの実態を把握しているか。また、支援策はあるか。

所有者不明土地の実態と対策は

所有者不明のまま放置されている土地を、地域の公益目的で活用できる特別措置法が施行された。この法整備を空き家対策に活用できないか。

〔建設部長〕所有者不在の危険な管理不全空き家対策は、「空き家対策の推進に関する特別措置法」を活用し、進めてきたところです。

空き家対策とこの法整備との関連性は、空き家を除去した跡地が所有者不明の土地の場合、所要の手続きにより地域福祉増進事業の利用権を設

新たな観光戦略としての
伊達政宗関連史跡の活用は

けていますが、その診断を受けた方の数は把握していません。なお、障がいのある人への支援等を協議する場を設置しているほか、市内2カ所の相談支援事業所で気軽に相談できる体制をつくっています。

館山城を起点として城塞遺構が残っているが、これも観光資源になるのではないか。

定することができ点です。

所有者不明の空き家とその跡地の有効利用とをどのように連動させいくか、今後研究していきたいと思っています。



能性を探る調査事業が実施されます。本市も積極的に情報を提供し、動向を注視したいと考えています。



▲国指定文化財(史跡) 館山城 館山東館 平成28年3月1日指定

西部小学校・愛宕小学校・広幡小学校の3年生が本会議場を見学



6月20日に西部小3年生82名、6月21日に愛宕小3年生44名、6月28日に広幡小3年生11名の児童が、市役所と本会議場の見学をしました。

市役所や議会の働きを知り、自分たちの生活とのかかわりについて学習しました。



▲西部小の3年生(本会議場の議員席にて)



▶愛宕小の3年生
(本会議場の議長席にて)



◀(議会棟内にある委員会室にて)
広幡小の3年生



議会を傍聴してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。次回の定例会は9月に開催されます。

海外からの観光誘客(インバウンド)への今後の展開は

国も県もインバウンド観光を推進しているが、本市はどのように取り組んでいるのか。
〔産業部長〕これまで、外国語に対応した観光リーフレット等の製作や無料公衆無線LANの整備、地域の外国人おもてなしセミナーの実施など

「道の駅米沢」から市内観光地への誘客をどう考えるか

「道の駅米沢」の来館者は200万人を達成したが、市

を行ってきました。現在、米沢市インバウンド計画により、受け入れ態勢の構築、滞在環境の整備、旅行商品の造成及び情報発信の拡充について、戦略的に取り組んでいます。



▲道の駅米沢

内観光地への誘客の取り組みやアクセスはあるのか。
〔産業部長〕総合観光案内所でイベントや旬の食などの情報の発信、着地型旅行商品の販売等を行っているほか、ま

観光地の道路、橋梁の整備はできているのか

ちナビカードの設置や観光アプリケーションの活用で周遊促進を図っています。
また、運営会社为主体となつて開催している「道の市」は、置賜管内の農業者や事業者の方が直接商品販売などを行うもので、アンテナショップの役割を果たしています。
なお、道の駅米沢とJR米沢駅間でワンコインタクシーが運行されると聞いており、新たな2次交通の手段として期待しています。

小野川町地内の塔之原橋は、観光客の散策や小学生の通学路に使われ、路線バスも通る利用頻度の高い橋だが、幅が狭く交通安全の面で不安視されている。整備計画はどうなっているのか。
〔建設部長〕塔之原橋については、5年に一度の定期点検で健全との診断だったため、少しでも長持ちさせ、耐用年数が過ぎて架け替えの時期になりましたら、歩道を備えた橋梁の整備を検討していきたいと考えています。

予算特別委員会

6月24日に開催した予算特別委員会から、
質疑の主なものをお知らせします。

〔委員〕ポポロ跡地について、今後どうなるのか。中心市街地活性化には、行政と地元との連携が大切であると思うが、現在、本市は地元との連携がとれる状況にあるのか。

〔総合政策課長〕5月末で解体工事が終了し、土地については、民間の所有地であることから動向について注視しているところですが、本市と地元との連携については、具体的なことは所有者が検討することであり、地元の座談会でも説明しているところです。

〔委員〕平和都市宣言の看板を含む三面広告塔が撤去され再設置しないということだが、看板を設置した意義がわかっていないと思う。今後、設置費用の見積りをとり、再度設置を検討してほしいがどうか。

〔委員〕看板撤去後の対応について、市として、さまざまな都市宣言をしているが、なぜその宣言を使用していたのか。また、整合性を図って設置していただきたいがどうか。

〔財政課長〕設置費用が相当

かかり、定期的にメンテナンスする必要もあるため、再設置しない方向で考えていたことから、設置費用の積算は行っていないとしました。今後、新庁舎の設計者と協議しながら、他のPR方法も含め検討していきます。その際、さまざまな宣言の取扱いについても併せて検討していきます。

〔委員〕こども食堂等のこどもの居場所づくりについて、県において新たな助成制度が整備され、必要性についても認識されている。本市としての立ち位置、また、どのような取り組みをしているのか。県の社会福祉協議会のホームページには、子どもの居場所づくりについて地域ごとに掲載されているが、置賜地域にかかわる情報がなく、本市の情報もない。今後、市民に情報がいきわたるようにしてほしいがどうか。

〔こども課長〕こども食堂については、市として助成は行っていないませんが、こどもの貧困対策として学習支援、生活支

援等は予算を計上し委託事業として実施しています。

子どもの貧困対策の推進に関する法律の改正が行われ、今後、市としてのかかわりも強くなってくると考えますので、把握している情報を広く周知できるように検討していきます。

〔委員〕今年度当初予算に計上している小中学校空調設備事業について、現在の進捗状況はどうか。

〔教育総務課長〕小学校については、設計が5月に終わりました。施工業者も決定しています。中学校については、7月までに設計が終わる予定で、その後、施工業者を決定します。

〔委員〕今年から、関根小学校、関根小学校の統合に向けた協議が進められているが、状況はどうなっているのか。

また、関根小学校の跡地利用についてはどのように考えているのか。

〔学校教育課長〕統合準備委員会を今年度立ち上げ、統合の準備を進めていくことになっています。7月2日に関根小学校と松川小学校の統合準備委員会、7月10日には関根小学校と南原小学校の統合準備委員会の開催を予定しています。

〔教育総務課長〕施設の劣化

状況や維持管理に要する費用などを踏まえながら、米沢市公共施設等総合管理計画に基づき判断すべきものと考えていますが、小中学校は地域とのかかわり合いも深いことから、地元の方にも話を聞いて検討していきたいと考えています。

〔委員〕中学校の統合から、約3か月が経過したが、旧南原中学校の生徒の学校生活や部活動での様子はどうか。また、スクールバス通学に支障は起きていないか。

〔教育指導部長〕学校生活全般で見ますと、概ね順調にスタートしており問題ないと考えています。個々に見れば、小さい学校から大きい学校に通学することで少し戸惑う生徒もいたようですが、学校では丁寧な対応に努めており、特段大きなトラブルの報告は受けていないところです。

〔学校教育課長〕バスの運行について、大きな問題があったというのはいないと思います。登校時は旧南原中と森林組合から乗車しますが、特段心配ごとは聞かれず、生徒は元気に登校している状況です。



全国市議会議長会表彰



● 正副議長表彰
（議長職4年以上）
次の方が表彰されました。
鳥 軒 純 一 議員



市議会のインターネット中継

米沢市議会では、インターネットのYoutube（ユーチューブ）により、本会議は録画中継、委員会は生中継及び録画中継をしています。

また、本会議は会議時間に合わせて、NCVのケーブルテレビ『022ch』で生放送を行っています。

どうぞご覧ください。

6月定例会で審議された議案

議案番号	件名	結果
報第2号	平成30年度米沢市一般会計継続費繰越計算書の報告について	承認
報第3号	平成30年度米沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	承認
報第4号	平成30年度米沢市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	承認
報第5号	米沢市土地開発公社の平成30年度経営状況及び令和元年度事業計画の報告について	承認
報第6号	公益財団法人米沢上杉文化振興財団の平成30年度経営状況及び令和元年度事業計画の報告について	承認
報第7号	一般財団法人米沢市体育協会の平成30年度経営状況及び令和元年度事業計画の報告について	承認
報第8号	一般社団法人米沢観光コンベンション協会の平成30年度経営状況及び令和元年度事業計画の報告について	承認
報第9号	株式会社米沢食肉公社の平成30年度経営状況及び令和元年度事業計画の報告について	承認
報第10号	専決処分事件の報告について	承認
議第5号	米沢市公平委員会委員の選任について	同意
議第6号	米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第7号	米沢市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	可決
議第8号	米沢市市税条例等の一部改正について	可決
議第9号	米沢市手数料条例の一部改正について	可決
議第10号	米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第11号	米沢市立学校設置等に関する条例の一部改正について	可決
議第12号	米沢市雪害プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第13号	米沢市中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第14号	米沢市青年の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第15号	米沢市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第16号	米沢市市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第17号	米沢市博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第18号	米沢市座の文化伝承館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第19号	米沢市市民ギャラリーの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第20号	米沢市都市公園条例の一部改正について	可決

議案番号	件名	結果
議第21号	米沢市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第22号	米沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議第23号	米沢市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第24号	米沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
議第25号	米沢市すこやかセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第26号	米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について	可決
議第27号	特定事業（米沢市公営住宅塩井町団地建替等事業（1号棟））事業契約の一部変更について	可決
議第28号	米沢市新庁舎建設工事請負契約の一部変更について	可決
議第29号	米沢市勤労者福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第30号	米沢市置賜広域観光案内センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第31号	米沢市道の駅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第32号	米沢市市営と畜場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第33号	米沢市市営食肉市場条例の一部改正について	可決
議第34号	米沢市放牧場設置等に関する条例の一部改正について	可決
議第35号	米沢市青果物地方卸売市場条例の一部改正について	可決
議第36号	米沢市林業センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第37号	米沢市木材工芸品等加工展示施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第38号	米沢市採草地の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第39号	米沢市森林体験交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第40号	米沢市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決
議第41号	米沢市水道給水条例の一部改正について	可決
議第42号	米沢市公共下水道条例の一部改正について	可決
議第43号	米沢市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	可決
議第44号	市道路線の認定について	可決
議第45号	令和元年度米沢市一般会計補正予算（第2号）	可決
議第46号	令和元年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可決

※ 請願及び意見書提出にかかる発議の採決結果は、14頁に掲載しております。

議案の賛否一覧表

◆6月定例会において賛否が分かれた議案についてのみ掲載しています。

議案番号	会 派 議員名 採決 結果	市民平和クラブ				公明 クラブ		日本共産党 市議団		櫻田門			一新会					明誠会							
		小久保広信	影澤政夫	我妻徳雄	太田克典	山田富佐子	佐藤弘司	高橋 壽	高橋 英夫	山 村 明	堤 郁雄	関谷幸子	遠藤正人	島 軒純一	工藤正雄	齋藤千恵子	成澤和音	中村圭介	鳥海隆太	古山悠生	井上由紀雄	小島 一	島 貫宏幸	木村芳浩	相田克平
議第7号 議第10～21号 議第23号 議第25・26号 議第29～43号	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
請願第1号	採択	○	○	○	○	×	×	○	○	退	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	○	○	○	○	○
発議第2・3号	可決	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	○	○	○	○	○	○

○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 鳥海 隆太議長は採決に加わりません。

6月定例会で審議した請願及び意見書の結果は次のとおりです。

請 願

採 択

◆核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書提出方請願（請願第1号）

（米沢地区平和センター 議長 堀内 勉）

天皇陛下御即位を祝す賀詞の奉呈について（発議第1号）

6月10日に、議員提出の発議1件を原案のとおり可決しました。

意見書

◇核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の提出について（発議第2号）

（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣 あて）

◇寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書の提出について（発議第3号）

（衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣 あて）

6月定例会最終日に議員提出の意見書2件を原案のとおり可決し、直ちに関係機関へ送付しました。

市議会9月定例会 日程（予定）のお知らせ

8月30日	開会（本会議）
9月 3日	一般質問
4日	一般質問
5日	一般質問
6日	一般質問
10日	決算特別委員会
11日	決算特別委員会
12日	決算特別委員会
13日	決算特別委員会
17日	総務文教常任委員会
18日	民生常任委員会
19日	産業建設常任委員会
20日	予算特別委員会
27日	最終日（本会議）

※請願の提出期限は、8月23日（金）午後5時の予定です。

日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 22-5111（内線5623・5624）

スポット

「かりゆし議会」を開催しました

本年は、沖縄市と本市が平成6年（1994年）4月1日に姉妹都市提携を行うことから25周年となります。この記念すべき年を広く市民の皆様に発信するため、米沢市議会及び米沢市では6月28日に、本会議出席者が「かりゆしウェア」を着て本会議に出席する「かりゆし議会」を開催いたしました。



▶議場でのチェンバロ演奏に聞き入る議員



▲福田直樹氏によるチェンバロ演奏

▶沖縄市民の花「ハイビスカス」と伝説の獣像「シーサー」



あとかぎ

今年の4月の改選により、議会だより編集委員6名も新メンバーになりました。2人の新人議員を迎え、新たな視点も取り入れて、今まで以上に読みやすい紙面づくりを心がけてまいります。

今回からの表紙は、米沢市内の後世に伝えたい芸能を取り上げていきます。

今回は、8月15日に行われる「綱木獅子踊り」を取り上げました。

綱木獅子踊りは、平家再興などを祈願して踊ったのが始まりと語り伝えられています。

現在、地区出身者と支援者の方々が保存会を組織して受け継いでいます。

これからも、各地区にある芸能を取り上げてまいります。

【編集委員長 小久保広信】

○議会だより編集委員会○

委員会 小久保広信
副委員長 齋藤千恵子
委員 佐藤 弘司

高橋 英夫
関谷 幸子
井上由紀雄